

健康なごやプラン21 (第2次)

～笑って、歩いて、健康づくりはまちづくり～



名古屋市

はじめに

現在、わが国の「平均寿命」は、世界でも高い水準を示しています。一方、急速な出生率の低下に伴って高齢化が進展しており、平成22年には高齢化率が23.1%、平成47年には全人口のうち、3人に1人が高齢者という時代を迎えると予測されています。

また、生活習慣病に関する課題が山積しており、診療にかかる医療費は、国民医療費（一般診療医療費）の約30%、生活習慣病が原因とみられる死亡者数は、全体の約60%を占めています。さらに、要支援・要介護者における介護が必要となった主な原因についても、脳血管疾患をはじめとした生活習慣病が約30%を占めています。

名古屋市では、すべての市民が健康で心豊かに生活できる社会をめざし、平成15年3月に「健康なごやプラン21（第1次）」を策定して、健康づくり施策を進めるとともに、ワンコインがん検診の推進、任意予防接種への助成の拡大、妊婦健康診査の公費負担回数や検査項目の拡大などの予防医療日本一を目指す施策に取り組んでまいりました。

これらの取り組みにより、市民の健康への関心や意識の向上が見られましたが、一方、様々な課題も浮かんできたことから、このたび、平成25年度から平成34年度を計画期間とした「健康なごやプラン21（第2次）」を策定いたしました。

第2次計画では、健康への関心や意識の向上を一層図るため、より広範囲にわたる生活習慣の改善や具体的な健康増進の行動へつなげることに重点を置き、最大の目的である健康寿命の延伸を実現するため、14の分野において具体的で取り組みやすい目標を設定しております。

「健康寿命」を延ばすための生活習慣の改善や健康増進の行動は、市民一人ひとりの努力が欠かせません。また、社会全体が個人の健康を支え守る環境づくり、まちづくりも大切です。

市民が健康づくりに取り組むために、毎月8日を「健康なごやの日」と設定して、健康施策の定期的な啓発や実践の日とし、家庭、学校、地域団体、企業、医療関係機関、行政などが一体となった、様々な方面からの支援を進めてまいります。

この第2次計画の策定にあたり、熱心にご議論いただいた健康なごやプラン21推進委員会の委員の皆様、市民意見の募集に際し、貴重なご意見をいただいた皆様に、心からお礼申し上げます。

平成25年3月 名古屋市長 河村 たかし

目 次

第1章	「健康なごやプラン21」改定の背景	1
第2章	本市の現状	
	1 人口の動向	2
	2 平均寿命	3
	3 健康寿命	3
	4 死亡状況	6
第3章	健康なごやプラン21(第1次)	
	1 「健康なごやプラン21(第1次)」の評価	9
	2 1次計画期間における健康に関する市の主な取り組み	12
第4章	健康なごやプラン21(第2次)	
	1 目的	14
	2 位置付け	14
	3 期間	15
	4 他計画との関連	15
	5 取り組みの方向	16
第5章	分野別目標と取り組み	
	1 栄養・食生活	18
	2 身体活動・運動	23
	3 休養・こころの健康づくり	28
	4 たばこ	31
	5 アルコール	34
	6 歯の健康	37
	7 糖尿病	41
	8 循環器疾患	44

9	がん	47
10	予防接種	52
11	思春期の保健対策の強化と心身両面の健康づくり	55
12	妊娠・出産に関する安全性の確保と健康づくり	58
13	小児保健水準の向上	61
14	子どものこころの安らかな発達と育児不安の軽減	64

第6章	関係機関との連携	72
-----	----------	----

第7章 名古屋市国民健康保険 第2期特定健康診査等実施計画

◆	特定健康診査・特定保健指導	73
1	現状と課題	74
2	達成しようとする目標	76
3	対象者及び目標対象者数	76
4	取り組みの方向	79
5	特定健康診査の実施方法	80
6	特定保健指導の実施方法	82
7	記録・データの保存	83
8	個人情報の保護に関する事項	83
9	年間の実施スケジュール	84

第8章 資料編

1	推進委員会等の設置・開催状況	85
2	健康に関する市民アンケート集計結果	88
3	子育てに関する市民アンケート集計結果	95
4	名古屋市国民健康保険特定健康診査に関するアンケート集計結果	104
5	用語集	105

